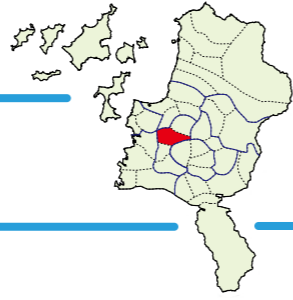


味酒地区

人口: 20,625人(高齢化率26.6%)
世帯数: 11,970世帯

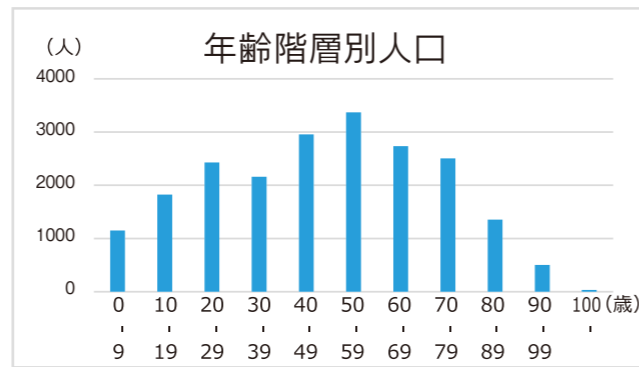


【地区の特色】

味酒地区は、十五万石の城下松山の西部にあつて城下町として栄えた地区であり、数多くの文化財や史跡が残っている。代表的なものとしては、全国に名の知れた俳人 栗田樗堂(くりた ちよど)が寛政十二年に建てた庚申庵がある。ここで樗堂は松山の俳人と句作を楽しんだとされている。なお、この庵は平成15年5月に改修整備を終え、史跡庭園として現在開園している。



大嶺ヶ台(西山)



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・病院、福祉施設、生活関連施設が充分あり自然豊かで生活しやすい地域 ・陸海空交通の便が良い ・水がよい ・災害が少ない ・教育機関(小、中)の活動が活発で、遊び場や子どもの数も多く地域に元気がある ・児童の見守りができている(校庭にある児童クラブが大きい) ・青パト活動等地域の団結力が強い ・寺などの地域資源や物知りが多く、人の繋がりがある地区
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会員数が少ない→ゴミ出しについて善意の協力をしてくれる人がほしい ・交通量が多い、道が狭い、坂が多い ・バスの路線変更、市内電車路線の廃止、電車の本数が少ない等の問題がある ・マンションが多く建ち、近隣者のお付き合いが希薄 ・町内会に入る人が少ない ・独居高齢者の存在が明確でない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者増 ・転入者が多く、地域コミュニケーションが取りにくい ・経済的な支援を必要とする人が増えてきた ・空家が多い ・防災防犯に課題がある ・地域の団結を強めていくためのリーダー育成が必要 ・避難所が少ない(見直しが必要) ・経済的に厳しい家庭が増える ・味酒小学校を中心に東方面に集会所があればよい

味酒地区社会福祉協議会 ささえ合い 心をつなぐ 味酒の和・話・輪

<拠点> 松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内3F

構成団体	地区民協・公民館・高齢クラブ連合会・町内会連合会
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回14,000部を作成し、地域福祉に関する情報や地区の貴重な人材についての紹介などを掲載し、回覧板にて全戸配布しています。
味酒小学校で敬老会	75歳以上の高齢者を対象に5月に開催し、お弁当を食べながら演芸発表などを楽しみ交流を深めています。
サロン活動の支援	いきいきサロン4カ所、緩和型サロン2カ所の支援を継続して実施し、介護予防や住民の交流の場の促進に努めています。

福祉講座の開催

地域住民の生活に関するテーマを設定し、年3回実施しています。「特殊詐欺の被害に遭わないために」「くすりと健康」「DV、児童虐待、気づいてつなぐ!」など時代に沿ったテーマを住民の視点から取り入れています。



<地区社協が目指すもの>

味酒地区社協は、今までの実践を大切にしながら、新しく天災地変時に生じやすい大峰ヶ台山麓、宮前川両所の再度点検と避難所への誘導方法について検討し今後盛り込んでいく予定です。また、地域での福祉活動が絵に描いたもちにならないよう、一緒にスクラムを組み取り組んでくれる人材の確保に努めなければならないと考えます。そのためにも福祉だよりの発行や福祉講座等を利用し、公民館、まちづくり協議会、町内会連合会、高齢クラブ、学校、その他地区内の関係団体との協力関係を築き、人間同志の心と心を密にする事こそを活動の最大の目標とします。

地区の状況	■地区民協	40名	■町内会・自治会・区長会等	62団体	
	民生委員		3名	■高齢クラブ	6クラブ
	主任児童委員			■子ども会	2団体
	■まち協の設立	平成28年度	■自主防災組織	24組織	

かやまち商店街をはじめとした商業施設が立ち並ぶ一方で、医療・福祉関係施設が充実しており市内中心部に近いことから、地域住民の多様な生活パターン(ライフスタイル)が混在しているため支え合いのかたちも多様な活動が求められる地区です。「福祉講座の開催」は、地域住民の生活に関するテーマで開催し、年代・性別・職種を問わず「共に暮らす」なかで課題となる項目が選定されています。また転入者が多く地域コミュニケーションがとりにくいことが課題としてありますが、「防犯・防災」は、地域住民にとって共通課題であるためこのようなテーマを切り口に、子育て世代を含めた多世代との交流を展開してみるとさらに良いでしょう。

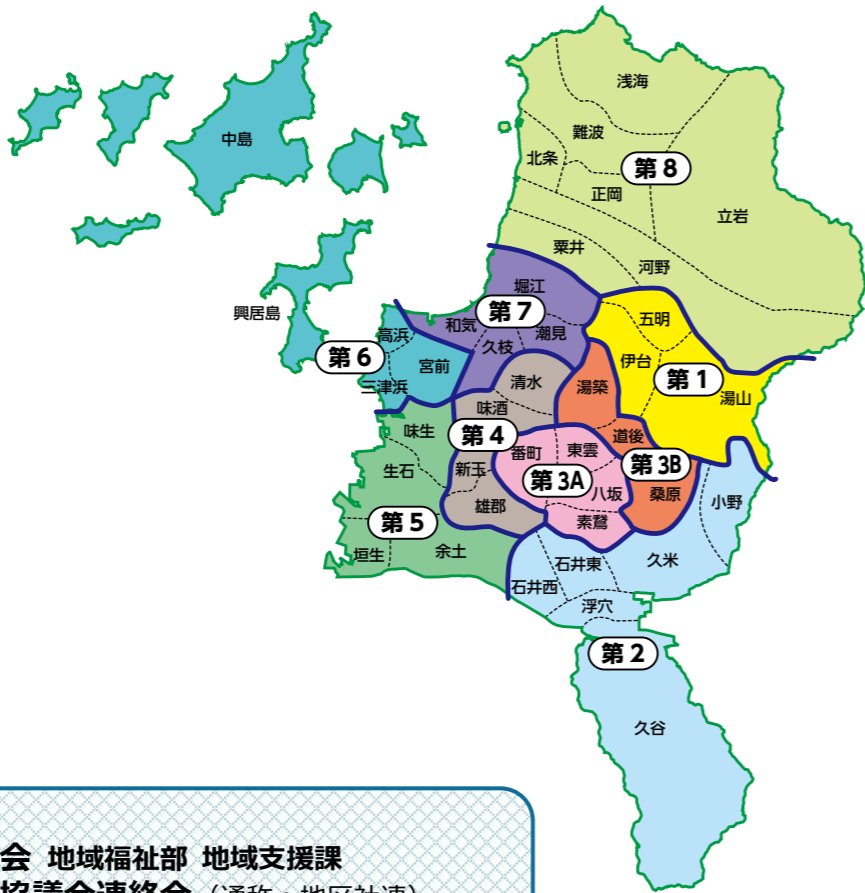


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
第3 B	道後地区	第4	味酒地区	第5	味酒地区
	湯築地区		桑原地区		桑原地区
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第6	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
第5	余土地区	第6	垣生地区	第7	垣生地区
	垣生地区		生石地区		生石地区
	生石地区		味生地区		味生地区



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

<『地域カルテ』の見方>

①地区の概要

- ・人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
- 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏